

令和7年度 教育計画 伊予市立翠小学校			学校番号 67
校長名 木戸 悟	学級数 4	児童数 30	教職員数 男4 女3 計7

1 経営の基本方針



☆地域と共にある学校づくり

- 家庭・地域と協働した学校行事
- コミュニティ・スクールとしての地域連携の推進

☆積極的な情報の発信

- 学校ホームページ等の活用
- 地域への教育活動公開
- 体験入学の開催と学校見学の実施(随時)



家 庭

やすらぎの愛顔

信頼と協働

地 域

つながりの愛顔

学校評価等に基づいた教育課程の改善

2 重点目標

- (1) 「みんなと心が通う優しい子」を育てる教育の推進
 - 気持ちのよい返事と挨拶ができる翠っ子の育成
 - 思いやりと感謝の心を育む異年齢集団活動、道徳教育の推進
 - 認め合い、支え合う翠っ子を育成する人権・同和教育、特別支援教育の推進
- (2) 「どこまでもがんばる元気な子」を育てる教育の推進
 - 目標に向かって粘り強く、最後までやりぬく翠っ子の育成
 - 毎日の外遊びや業間マラソン、なわとび等による体力づくりの生活化
 - 健康・安全・防災教育の推進 《早寝・早起き・朝ごはん》《命を大切にする》
- (3) 「りそうをめざし進んで学ぶ子」を育てる教育の推進
 - 分かる楽しい授業の創造と、共に伸びる学習活動の充実
 - 朝の時間の有効活用と、ICT活用能力の向上
 - 朝読書、短作文の継続による読解力と表現力の育成
- (4) 家庭・地域社会との連携・協働
 - 家庭との連携による望ましい生活習慣と学習・読書習慣の定着
 - 家庭・地域と協働した学校行事、地域から学ぶ体験活動の充実
 - 積極的な情報発信と、コミュニティ・スクールとしての地域連携の推進

3 管理運営

- (1) 人的管理
 - 授業を核とした研修による指導力と専門性の向上
 - 厳正な服務規律の遵守と、めりはりのある働き方による働きがいの向上
 - 報告・連絡・相談・見届けの徹底と即動体制の確立
- (2) 物的管理
 - 安全・安心で温もりや潤いのある教育環境の整備
 - 施設、設備、備品の適正な管理と有効活用
 - 危機管理・防災体制の確立と安全点検の徹底
- (3) 事務管理
 - 校務分掌の明確化と全教職員による協働体制の構築
 - 経理事務や個人情報等の厳正な管理とチェック体制の確立
 - ICTを活用した事務処理の効率化と文書等の適正管理

4 本校教育の特色

本校区は、豊かな自然環境に恵まれ、地域の人々は人情豊かで連帯意識が強く、本校を「翠校」と呼んで親しみ、翠校の教育活動に対して協力を惜しまない支持的風土がある。

本校は、開校152年の歴史を誇る由緒ある学校である。2代目に当たる現在の校舎は、昭和7(1932)年の完成から93年を迎えた県内現役最古の木造校舎である。平成19(2007)年度から環境省の3か年事業「学校エコ改修と環境教育事業」の指定を受け、大規模改修を行った。平成21(2009)年には伊予市の有形文化財に指定され、翠校区のシンボルとなっている。

児童数の減少に歯止めを掛ける対策として、平成23(2011)年度から校区外通学制度が始まり、今年度は、全児童数の7割に当たる20名が伊予市内の校区外各地区から通っている。また、県外からの移住家庭の児童も6名在籍するなど、人数は少ないながら多様な生活環境で育った個性豊かな子供たちが翠校で学んでいる。

この翠校の未来に思いを馳せる地域の人々の生き方に学びながら、学校・家庭・地域が一体となって、「郷土を愛し、未来を切り拓くことのできる知・徳・体の調和のとれた翠っ子」の育成を目指していく。